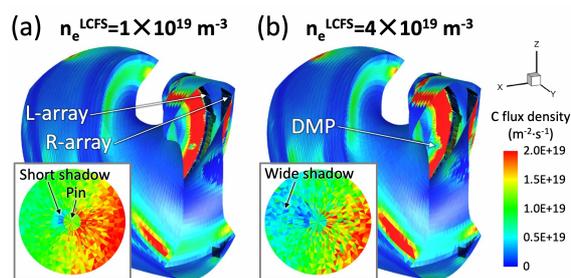


プラズマ・核融合学会誌

第98巻第4号

2022年4月

小特集	カーボン材料への低温プラズマ利用に関する最新研究事情と今後の展望	
	1. はじめに	小川大輔 151
	2. プラズマを使った触媒生成による高密度カーボンナノチューブ (カーボンナノフォレスト) 生成とそのデバイス応用	古田 寛, 圓井太智, 小路紘史, パンダー アダム 153
	3. プラズマによるカーボンナノウォールの合成と応用	平松美根男, 竹田圭吾, 近藤博基, 堀 勝 158
	4. プラズマ CVD 合成グラフェンナノリボンのデバイス応用	加藤俊顕, 金子俊郎 165
	5. プラズマによる DLC コーティングの現状と将来展望	上坂裕之, 太田貴之 171
	6. おわりに	小川大輔 176
講座	荷電粒子群の閉じ込めと制御の物理が可能にした反物質研究	
	3. ポジトロニウム負イオンの光脱離を用いたポジトロニウムビーム科学の展開	永田祐吾, 長嶋泰之 179
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト.....		186
インフォメーション		187
	幅広いアプローチ活動だより(96)	
	【人事公募】	
本会記事		189
	専門委員会応募に対する採択の結果	
	第19回高校生シンポジウム「SDGs が拓く未来社会-集まれ高校生研究者-」実施報告	
	領域別メーリングリスト リニューアルのお知らせ	
	学会賞候補者の募集について	
	第39回プラズマ・核融合学会年会 シンポジウム・招待講演・オーガナイズドセッションの募集	
	理事会だより (第1回)	
編集後記		



表紙の絵

3次元プラズマ-表面相互作用シミュレーションコード(ERO2.0)で計算された、大型ヘリカル装置(LHD)における真空容器壁面/ダイバート板表面上での炭素粒子束密度分布。(a)は低密度、(b)は高密度プラズマの場合の計算結果を示している。各々の図中の枠内には、トラス内側の赤道面に設置された方向性マテリアルプローブ(DMP)上での炭素粒子束密度分布が示されている。

(Mamoru SHOJI *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 17, 2403010 (2022) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。